

## 令和3年度 授業改善推進プラン 大田区立馬込中学校

## 「経年比較」について

授業改善推進プランでは、同一学年の「経年比較」を大切にしています。

中学校に入学した生徒たちの学力が、学年をあげるにしたがってどう推移したかを見ることで、改善の方策が妥当であるかどうかを判断するためです。

また、授業改善推進プランでは、「平均点」を経年比較するのではなく、「達成率（＝目標値を達成した生徒の割合）」を経年比較しています。

東京都教育委員会の「学力・学習状況調査結果分析」では、平均点ではなく、達成率の上昇が重要であるとされています。

熱心に学習に取り組む中学生が多くいる一方、学習に意欲を持ってない中学生も少なくないという、「二極分化」の傾向が課題となっているからです。

馬込中学校でも、学力の「二極分化」を起こさないよう、1人でも多くの生徒が意欲的に学習に取り組めるよう、授業改善に努めます。

大田区では、経年比較のみ具体的な数値を記載します。（「昨年度から5%上昇している」など。）達成率や平均点自体は、文章表記となります。

○達成率：「非常に高い」「高い」「標準」「低い」「非常に低い」の5段階

○平均点（観点別）：「大きく上回っている」「上回っている」「標準」「下回っている」「大きく下回っている」の5段階



## 国語科

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・意見文の発表をとおして、課題解決のための思考力、情報を精査するための判断力、考えを文章化しスピーチとして伝える表現力の育成に取り組むことができた。
- ・自分の考えと他者の考えを踏まえて練り直すことで、関心を高めたり視点を広げて考えたりすることができた。

#### (2) 課題

- ・全学年において小テストを毎時間実施し、漢字の読み書きの定着を図る。
- ・様々な視点から題材を捉えて考えや想像を広げ、言葉そのものに対する関心を高める。
- ・的確な読み取りや適切な表現を定着させるために、要約や感想文、小論等各学年の各題材に応じた簡単な文章作成を継続する。
- ・相手の話をよく聞き、充実したコミュニケーションがとれるように、様々なパターンでの発表や話し合い活動を取り入れていく。
- ・活動と評価を適切に結びつけ、学習意欲の向上、学習習慣の定着につなげる。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果	平成31年度結果
第1学年	非常に高い。		
第2学年	非常に高い。昨年度から1.6%上昇している。	高い。昨年度から9.6%上昇している。	
第3学年	高い。昨年度から2.1%減少している。	非常に高い。昨年度から34.6%上昇している。	標準。昨年度から7.8%減少している。

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
大きく上回っている。	大きく上回っている。	上回っている。

##### ② 第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
上回っている。	大きく上回っている。	大きく上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
上回っている。	上回っている	標準。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
字形を意識して文字を書いたり表現の工夫を意識して解釈したりするために、基礎の反復学習を行う。	文章の各分野における適切な読み方を知ること、展開が捉えられるようにする。話を理解しながら聞くために、目的をもって聞く姿勢を身に付けさせる。正確に文章を書くことができるように、要約や小作文を継続する。	課題に対して自ら考え取り組むことができるように、授業の展開や発問を工夫して指導する。

#### （2）第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
学習習慣を定着させ、字形を整えて文字を書くことができるように、基礎の反復学習を行う。	一人一人が情報を注意深く聞き（読み）、理解することができるように発問やワークシートを工夫する。文章に対する考えを文章にしたり話し合ったりできるように、多角的なものの見方に触れる。	積極的に参加できるように発表や創作する場面を十分に設定し、個別での指導を工夫する。

#### （3）第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
漢字や文法に加え、各単元において小テストを継続して行い、定着を図る。	文章を踏まえ、それに対する考えを3段落構成で書けるように、小論の推敲を継続して取り組む。様々な人と多様なコミュニケーションをとれるように、発表や話し合い活動を積極的に取り入れる。	積極的に参加できるように、自身の生活と関連させて考えて表現させる場面を増やし、生徒一人一人に応じた多角的な指導を実践する。

# 数学科

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・全観点で目標値を上回ることができた。

### (2) 課題

- ・第1学年は「分数の四則計算」に課題がある。
- ・第2学年は「負の数の大小比較」に課題がある。
- ・第3学年は「箱ひげ図」「連立方程式の立式」に課題がある。

## 2 大田区学習効果測定の結果分析

### (1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果	平成31年度結果
第1学年	高い。		
第2学年	高い。昨年度から10.2%下落した。	高い。	
第3学年	高い。昨年度から6.4%下落した。	高い。昨年度から17.3%上昇した。	標準。

### (2) 分析（観点別）

#### ① 第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。	目標値を上回っている。	目標値を上回っている。

#### ② 第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。	目標値を大きく上回っている。

#### ③ 第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている。	標準	目標値を上回っている。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
効果的な問題演習を提供し、効果的な技能の習得に努める。	領域を横断する複合問題についての思考を高められるように、良質な問題・課題を提供し、試行する機会を与える。	自ら参加できるように、発表場面を工夫して設定し、個別に指導する。

#### （2）第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
良好である。これからも定期的な単元テストなど取り組んでいく。	3学年時の領域を横断した複合問題に課題が出る恐れがあるため、良質な問題提供を心掛ける。	良好である。発展的問題に取り組もうとする意欲を高める。

#### （3）第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
効果的な問題演習を提供し、効果的な技能の習得に努める。	領域を横断した複合問題に課題が出る恐れがあるため、良質な問題提供を心掛ける。	ICTなどを活用した導入の工夫を続けていく。

# 英語科

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・生徒が積極的に取り組むことができる学習形態を工夫し、英語学習への意欲を高めることができた。
- ・ペアワークやグループワークを通して、英語を理解しようという思考力・判断力、会話しようとする表現力を高めることができた。
- ・各単元終了後に単元テストを実施し、基礎的な知識を身につけさせることができた。

### (2) 課題

- ・単元テストや単語テストを活用し、基礎的な知識を定着させ、表現力を伸ばしていく。
- ・授業の中で発表を増やし、思考力・判断力・表現力を養う。
- ・読解力を養うために、ワークシートを活用し、なるべく多くの読解問題に触れられるようにする。また、音読練習も多く取り入れていく。

## 2 大田区学習効果測定の結果分析

### (1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果	平成31年度結果
第1学年	非常に高い。		
第2学年	非常に高い。		
第3学年	高い。昨年度から6.2%上昇した。	高い。	

### (2) 分析（観点別）

#### ① 第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
大きく上回っている。	上回っている。	標準

#### ② 第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
大きく上回っている。	大きく上回っている。	大きく上回っている。

#### ③ 第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
上回っている。	大きく上回っている。	大きく上回っている。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
教科書の基礎的な知識の定着を図るために、各小单元ごとにテストを行う。	ペアワークやグループワークを多く取り入れ、自分の考えを英語で表現する力を養う。	生徒が興味関心をもちながら学習できるように、ワークシートやスライドを工夫する。

#### （2）第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
引き続き各单元が終わるごとに、单元テストを行い、教科書の基礎的な知識の定着を図る。	相互のやり取りをできるように、英語を聞いて答える力を養う。また、自分の考えを表現し、発表する場を多く設定する。	より主体的に学習に取り組めるように、生徒の興味・関心を引く言語活動の設定や教材の工夫をする。

#### （3）第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
授業で行った単元の理解度を把握するために、小テストを細かく行い、基礎的な知識・技能を定着させる。	自分が感じたこと、考えたことを英語で書いたり、話したりする機会をたくさん与える。即興でのアウトプットも行う。	従来の授業態度、提出物に加え、間違えてもできるまで何度でも挑戦できる課題、自分の答案の分析などを新たに加える。



# 社会科

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・ICTを活用し、視覚的・聴覚的教材を工夫して、関心意欲を高めることができたが、地図やグラフの読み取り、複数資料の活用に課題がある。
- ・歴史では文化や政治についての正答率が上がり、流れをつかむ部分で成果が見えた。
- ・範囲の中から出題する小テストを実施し、成果が出た生徒が増えてきた。

### (2) 課題

- ・小テストに関しては、1・2年生の積み重ねが重要であるので昨年以上に回数を増やし、知識理解の定着を図る。
- ・世界の諸地域や日本のついでに産業、貿易について理解や読み取る力に課題が見えたので、図やグラフ・写真などの資料を使って定着を図る
- ・歴史においても資料を読み取る力とそれを表現する力を磨くことが必要であり、授業内で積極的に資料提示をしていく。
- ・タブレットを活用して家庭学習の充実を図る。

## 2 大田区学習効果測定の結果分析

### (1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果	平成31年度結果
第1学年	高い。		
第2学年	高い。昨年度から4, 5%下降した。	標準。	
第3学年	高い。昨年度から6, 7%下降した。	標準。昨年度から3, 1%下降した。	標準。

### (2) 分析（観点別）

#### ① 第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
標準。	上回っている。	標準。

#### ② 第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
上回っている。	上回っている。	上回っている。

#### ③ 第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
標準。	上回っている。	上回っている。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
正しく語句を記入することに課題が見られたので、授業で正確な文字・漢字を書けているか確認することで定着を図る。場所や位置に関する知識が不十分である生徒もいたので、教科書・地図帳を使用して確認していく。	知識を語句として捉えることが多く、文章として表現することに課題が見られた。グループ内で話し合わせることで、他人の文章から自分の文章の改善点を考えさせる。	生徒によって主体性に違いが見られたので、ICT教材を効果的に取り入れることで全体が興味を持ちやすい授業を展開する。

#### （2）第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
語句の意味や位置の理解に課題が見られたので、家庭学習を通じて定着を図る。歴史・地理両方とも複数の資料を活用し、習得した知識と結びつけられるような問題を授業内で出題する。	資料を読み取り、それを示し、考え、必要な資料を取捨選択し、ICT機器を利用して表現する活動を多く取り入れる。	資料を読み解く部分に課題が見られたので、授業中に課題解決学習を取り入れる回数を増やす。写真、電子黒板への投影を活用する。

#### （3）第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
歴史と公民において知識の定着度合いに差異が見られた。公民において基礎知識が欠けている様子が見られたので、小テストを実施することで知識の確認を行う。	公民において、学習している知識が自分の身の回りでどのように関与しているのか理解できている生徒が少なかった。普段の生活と結びつけながら、その問題点や改善点についても授業中に考えさせる。	自分の身の回りで起こっている社会的問題に興味を持たせられるよう、映像や資料を見せながら視覚・聴覚的教材を利用した授業を行う。

# 理科

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・3年生では、用語テストを行い、基礎事項の定着をはかった。
- ・2年生では、実験や観察をなるべく行い、興味・関心・意欲を高めるよう工夫した。

### (2) 課題

- ・3年生では、グラフの書き方の定着率が低いので、グラフを書く時にくり返し書き方を確認する。また、習った知識を使って、活用する力が弱いので、授業で活用する機会を増やしていく。
- ・2年生も、習った知識を使って活用する力や日常生活と結びつける力が弱いので、習ったことを使って考えたり、日常生活と結びつけたりする授業を行っていく。また、用語を説明する力も弱いので、説明をする機会を増やす。
- ・1年生は、これからの中学校の理科学習で、より主体的に取り組む力・理解力を高められるようICT機器なども活用しながら、授業の内容や教材の工夫を行う。
- ・各学年とも教える内容を日常生活に関連させながら、理科を身近なものとしてとらえさせ、主体的に学習しつつ、より興味・関心を深めさせられるよう授業を進める。

## 2 大田区学習効果測定の結果分析

### (1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果	平成31年度結果
第1学年	非常に高い。		
第2学年	高い。昨年度から0.7%減少した。	標準。	
第3学年	高い。昨年度から7.2%上昇した。	標準。昨年度から7.1%上昇した。	標準。

### (2) 分析（観点別）

#### ① 第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回っている	目標値を上回っている	目標値を大きく上回っている

#### ② 第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
標準・大きく上回っている	標準	標準

#### ③ 第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
標準・下回っている	標準	標準

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験・観察を行い、基本操作の定着を図る。また、操作の意味を考えさせながら行う。</li> <li>・用語などは、テストなどを行い、定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力が伸びるように既習事項を使って説明する機会や考える機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なことを題材として、ICT機器も活用しながら、中学校の理科の学習への興味・関心を高める。</li> </ul>

#### （2）第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察を行った項目については、定着している項目が多いので引き続き、実験・観察をなるべく多く取り入れる。</li> <li>・用語が定着していない項目もあるので、テストを行い、定着を図りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力が伸びるように既習事項を使って説明する機会や考える機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なことを題材として、ICT機器も活用しながら、中学校の理科の学習への興味・関心を高める</li> </ul>

#### （3）第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・用語テストを行い、知識の項目が伸びているので、引き続き行っていく。</li> <li>・化学の分野では、実験が全くできなかったため、今年は、実験をなるべく取り入れた授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力が伸びるように既習事項を使って説明する機会や考える機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なことを題材として、ICT機器も活用しながら、中学校の理科の学習への興味・関心を高める</li> <li>・3年の内容と関連付けながら1，2年の内容を振り返らせ、学習への意欲を高める。</li> </ul>

## 音楽科

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・授業に対する関心・意欲・態度が良好である。

#### (2) 課題

- ・表現の創意工夫に関しては、理解したことを演奏に組み入れることが課題である。
- ・表現の技能に関しては、より豊かな表現力を身につけることが課題である。

### 2 授業の状況、定期考査の結果等からの学力分析

#### (1) 第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
歌唱表現に必要な姿勢、発声などの基本となる力が身につけていない。器楽で基本運指ができていない生徒がいる。 基礎・基本の定着に欠ける。	楽曲内容を知識として理解しているが、それを演奏で表現することはまだ十分でない。	聴く、書く、読む、歌う、吹くという流れにのれない生徒がいる。ワークシートの記入などの活動を通して多様な音楽の良さや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てたい。

#### (2) 第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
歌唱表現に必要な姿勢、発声などの基本となる力が身につけてきている。器楽で基本運指ができていない生徒がいる。	創意工夫、音楽表現のために必要な知識・理解が十分ではない。	どの課題も落ち着いてよく取り組んでいる。その曲に対する理解・知識は全体的に高い。ワークシート記入などの活動により成果が表れている。

#### (3) 第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
歌唱表現に必要な姿勢、発声などの基本となる力が身につけていない生徒がいる。器楽で基本運指ができていない生徒がいる。	楽曲内容を知識として理解してきているが、それを演奏で表現することはまだ十分ではない。	基礎・基本の定着に欠ける生徒がいる。集中して授業に取り組む姿勢が身につけていない生徒がいる。 鑑賞曲から何を学び、何を感じ取るのか、注目する点を理解するまでに時間が多少かかる。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
興味深く体験できる基礎発声や基本運指を毎授業で繰り返し練習し、基礎・基本の習得を図る。 授業内容と目標を明確に伝える。	実技表現への苦手意識をもつ生徒たちへの自尊意識を高める指導をする。 歌唱の内容を感じ取り、表現を工夫して歌うように指導する。	歌唱・器楽・鑑賞・提出物に至るまで、ひとつひとつ確認しながら進めていく。 音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。

#### （2）第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
多様な音楽の良さや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。	歌唱の活動を通して、歌詞の内容を感じ取り、表現を工夫して歌う。	興味深く体験できる基礎発声や音楽の基本を毎授業繰り返し、基礎・基本の習得を図る。

#### （3）第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
器楽の活動を通して、器楽の特徴をとらえ、基本的な奏法を身につけて演奏する。 わかりやすい説明、ワークシートや視聴覚機器の活用により関心を高める。	多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫して表現する能力を育てる。	集中して授業に取り組む姿勢が必要である。 鑑賞教材は我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導に適切なものを扱う。

# 美術科

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・自分や他者の作品のよさを認める力が向上した。
- ・一生懸命に取り組んだことで基礎的な技能を修得できた。
- ・美術を愛好する心情がより強くなった。

### (2) 課題

- ・意欲的に取り組む姿勢を全体に定着させる。
- ・豊かに発想する力を伸ばす。
- ・根気よく取り組みながら技能を定着させる。

## 2 授業の状況、定期考査の結果等からの学力分析

### (1) 第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
基礎的な技能を理解しているが、理解力に個人差がみられるようになってきた。	発想や構想を独自に生み出し、楽しめる生徒が多い。	課題を理解し、意欲的に取り組むことができる。

### (2) 第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
基礎的な技能に関して理解し創作活動の中で実行できている。	基礎的な技能に関して理解し創作活動の中で実行できている。	課題を理解して取り組めるが、授業規律の定着には引き続き取り組む必要がある。

### (3) 第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
基礎的な技能を生かして創作に活用できるようになった。	発想や構想で悩む生徒はいるが、意欲的に向き合えるようになった。	課題を理解し真面目に取り組む姿勢が備わっている。落ち着いて取り組めるようになった。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
丁寧な声かけ。確認などで習得した基礎的な技能を伸ばさせ、知識、技能を深めさせる	自由に発想できる環境づくりを心がけ、個性を認め、表現力を伸ばしていく。	達成感の喜びや表現活動の楽しさを味わわせていけるよう、個々の良さに気づかせていく。

#### （2）第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
修得した基礎的な技能を継続して正しく使えるよう、定期的な確認や声かけをし、最後まで丁寧に取り組ませる。	発想を膨らませる手立てや、アイデアのもとになるような資料の提示をする。	達成感や楽しさを味わえるように、作品へ働きかけたことによる変化や、良さに気づかせる。

#### （3）第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
修得した基礎的な技能を継続して正しく使えるよう、定期的な確認や声かけをする。	発想を膨らませる手立てや、アイデアのもとになるような資料の提示をする。	達成感や楽しさを味わえるように、作品へ働きかけたことによる変化や、良さに気づかせる。



# 保健体育科

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- 自己の課題を見つけ、その解決に向け必要な練習方法を考える力を身に付けさせることに取り組んできた。コロナの影響で制限がある中ではあったが、個々で目標設定をさせ、課題解決に向けての練習を考えながら、技術向上を目指すことができた。
- 三密に気を付けながらグループワークを増やし、自己や仲間の良さや課題を見つけ、伝える時間を少しずつ設けることができた。

### (2) 課題

- 個々の体力を向上させるために、運動量を増やす。
- 生徒の得意・不得意に関わらず、意欲的に取り組めるよう授業展開を工夫する。
- 新型コロナウイルス感染防止に努め、三密に気を付けながらグループワークを増やす。

## 2 授業の状況、定期考査の結果等からの学力分析

### (1) 第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方について、意欲的に理解しようと努めている生徒が多い。その一方で、基本的な体力や技能には差がある。また、授業内でのルールや約束事を守る意識を高め、安全な行い方について学習している。	自己課題を発見し、その解決に向けて自己や仲間の考えをワークシートに記入したり、グループワークで他者に伝えたりする学習をしている。しかし、ワークシートの提出ができない生徒がいる。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、他者を認め合う態度を養い、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている生徒が多い。

### (2) 第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意方法について学習しているが、定期考査の結果を見ると定着は不十分なところもある。また、各運動の特性に応じた基本的な体力や技能に差が見られる。	自己課題を発見することはできても、合理的な解決に向けて課題に応じた運動を工夫することは難しい。自己や仲間の考えたことを他者に伝える学習として、グループワークやワークシートの活用をしている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている生徒がいる一方で、運動に対して苦手意識をもつ生徒もいる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
各運動の技の名称や行い方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての方法や、スポーツの意義についての考え方については一定の理解が定期考査の結果から見られる。運動の基本的な技能はある程度身に付いているものの、応用や体力の高め方については課題がある生徒もいる。	生涯にわたって運動を豊かに実践するために自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向け、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた組み合わせ方を学習し、グループワークやワークシートを活用しながら自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる生徒が増えてきた。	仲間と協力しながら、運動の楽しさや喜びを味わおうと意欲的に取り組むことができる。また、苦手意識のある生徒もいる中、公正、責任、共生などを養い、健康・安全に留意しながら、学習に積極的に取り組む生徒も多い。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
各運動の特性や成り立ちや技の名称、行い方については、授業内でポイントを明確にするとともに、ワークシートの活用でより定着させる。技能差については、個々の能力を理解させ、自分に合った練習方法を選択できるよう促す。また、授業内でのルールや約束事を守る意識を高め、安全に留意する。	グループワークを増やしたり、考えを他者に伝えるためのポイントを提示したりすることで、自己や仲間の課題の発見や、その解決の方法を意欲的に検討できるようにし、ワークシートの記入にも反映できるようにする。	生徒が主体的に運動に取り組むことができるよう、練習法やゲームの工夫、グループワークにより、能力差にも配慮しながら安全に留意して学習できるよう努める。

#### （2）第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
各運動の特性や技の名称、行い方、健康・安全の留意点については、授業内で目標や技のポイントを明示したり、教え合い活動をしたりすることで理解を深めさせるとともに、ワーク等の活用で定着を図る。また、グループワークで仲間と協力したり、能力に応じた目標や練習法を設定するなど、技能を高める機会を確保する。	技や動きのポイントを明確にしたり、グループワークで互いに評価したり教え合ったりすることで自己課題をより発見しやすくする。また、その課題の合理的な解決のために、能力に応じた練習法の提示や話し合い活動も取り入れる。	生徒が主体的に運動や練習に取り組むことができるよう、段階的に目標設定をしたり練習を選択したりできるようにする。他者を認め合い、協力して取り組めるような環境づくりに努める。

#### （3）第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
自己の体力や技能を理解し、主体的に運動を選択できる力を身に付けさせる。また、応用や体力の高め方についても、ICTやワークシートの活用で考える機会を設定し、実行させる。	グループワークやワークシートの活用を継続しながら、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたり、自己の課題発見や解決に向けた運動の取り組み方を検討、実践したりできるようにする。	仲間と協力しながら主体的に活動し、公正、責任、共生などを養うことで普段の生活でも正しい態度をとれるようにする。また、健康・安全に留意しながら、自分たちで積極的に活動内容を検討する力を身に付けさせる。

## 技術・家庭科

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・技術・家庭科へ強い関心をもち意欲的に活動することができている。
- ・生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能はおおむね身に付けている。

#### (2) 課題

- ・身近な技術や生活について、自らの意見をまとめ、表現することにやや課題が見られる。
- ・意欲的に活動し、生活に必要な基礎的・基本的な技能はおおむね身につけているが、適切な道具の使い方や周囲への配慮など、安全面でやや配慮にかけることがある。

### 2 授業の状況、定期考査の結果等からの学力分析

#### (1) 第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
生活と技術について理解し、それらに関わる技能を身に付けようとしているが、自ら問題を解決することが苦手な生徒が多いことが課題である。	学習した知識や技能を生活の中に生かし、自分の考えを表現することが苦手な生徒が多いことが課題である。	教科に対する関心は高いが、授業への取り組み方や姿勢で課題が見られる。

#### (2) 第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
基礎的・基本的な知識の定着が十分ではない。切な道具の使い方や周囲への配慮など安全面で配慮に欠けることがある。道具や材料の特性を理解しないで作業をすることに課題が残る。	学んだことを生かして自分の考えを表現することが苦手である。	教科に対する関心は高いが、授業への取り組み方や姿勢で課題が見られる。

#### (3) 第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
基礎的・基本的な知識の定着が十分ではない。適切な道具の使い方や周囲への配慮など安全面で配慮に欠けることがある。	自分の意見を表現することはできるが、学んだことを生かした表現が苦手である。	教科に対する関心は高いが、授業への取り組み方や姿勢でやや課題が見られる。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）第1学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会の中から問題を見出して課題を設定して解決する力を身につけさせる。	課題学習や体験学習を多くし、問題を魁夷結する力を身につけさせる。	授業規律の徹底を図り、より学びを深められる環境作りに努める。その中で生徒の自主的な活動を促す指導を行う。

#### （2）第2学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
機器や機材を効果的に活用する。とくに基礎的・基本的な内容を重視し、丁寧に重点事項を説明する。適切な難易度の課題を導入し、より高い技術の習得を目指す。	活発に表現する姿勢はさらに伸ばす指導を行う。自らの意見をまとめ、記述や発表などで表現する機会を多く取り入れる。	授業規律の徹底を図り、より学びを深められる環境作りに努める。その中で生徒の自主的な活動を促す指導を行う。

#### （3）第3学年

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
機器や教材を効果的に活用する。とくに基礎的・基本的な内容を重視し、丁寧に重点項目を説明する。安全への意識を重点的に指導し、道具の特性を理解しつつ安全に使用する力を養う。	活発に表現する姿勢はさらに伸ばす指導を行う。学んだことを活用する機会を積極的に作り、制約条件がある表現活動を多く取り入れる。	授業規律の徹底を図り、より学びを深められる環境作りに努める。その中で生徒の自主的な活動を促す指導を行う。